



道路會議を再興せよ

道路改良會幹事 田中好

○

我國道路政策の一部が改訂されて、所謂産業道路の改良が實現さるゝの機運に際會したのは寔に喜ぶべきことである、が併し夫れは自動車の發達に依つて道路の經濟的價値が著大と爲つた必然的の成行であつて、敢て之を政黨の新

政策とし特に囃し立てる程のことでも無い、唯だ此くの如く従來の道路政策に新考察が加へられたことは、自然的に自動車の發達を助勢し延いて我が國産業の發展に貢獻することゝ爲るから夫れを喜ぶのである、従つて道路の發達が他の既存の交通機關に對する影響も亦重大であつて且つ繁雜を招來することゝ爲るが、交通機關の圓滿な發達を企圖

するが爲には、獨り道路に止まらず水陸は勿論上空に於ける凡百の交通機關に對し統制を行ひ、各交通機關の有する獨特の機能を探つて以て國民生活に利用せしむることを考慮せねばならぬ。

固より之が爲には現在各省に分屬する交通行政を統一して一省に所管せしめ、各種交通機關を統制するのが最も理想に適した措置ではあるが、現時の行政實情が俄に之が實現を許さないとすれば、政府は交通會議を設置して總ての交通政策を審議決定せしめ、主管各省は其の決定に従ひ行政する方法を以て暫定策とし、吾人は一再ならず之を説論したのであるが未だ其の實現の機を觀ざるを遺憾とする。併しながら其のことの困難なるに躊躇して袖手傍觀する如きは、現時の交通實情が之を許さざるのみならず路政に關係ある者の忍び能はざる所である、然らば如何なる手段に依りて之を實現せむとするか、他なし曩年廢止された道路會議を再興するに在る。

試に道路の效用から觀ると、道路が人の生活する隨所に施設經營せられ、鐵道を經營するに就ても亦港灣を築造するに就ても將た飛行機昇降場を施設するに就ても、何れも夫れと人の所在とを連絡するには道路の必要なことは言を俟たない、従つて道路の良否は夫等交通機關の經濟的能力を左右するの地位を占むるものなるが故に、之を短的に言はゞ道路は夫等交通機關の基礎的性質を有する設備と言はねばならぬ、此の如き性質を有するものなるを以て道路政策を確立することは總て他の交通機關の配置統制を自然的に決定せしむることゝ爲る、故に道路政策決定の爲に道路會議を設置することは、交通會議を設置して交通行政の統制を行ふと同一の結果を招來するに至るのである、これ吾人が道路會議の再興を高調する所以である、故に交通行政を主管する各省の主腦部と交通に關して學識經驗を有する者と民間專業家とを網羅して道路會議を組織し、道路を基

礎としての交通事項を審議決定せしめ、之に依りて道路と他の交通機關との設置に關する利害を論及せしめたならば、自ら交通行政は統一されて合理經濟的に交通機關を統制するの實を擧ぐることを期して待つべきである。



或は政府の設置した從來の會議の成績乃至は效果に立脚して、道路會議も亦其の弊を助長し徒に屋上屋を架するものなりとする論者もあろう、常に世の問題を惹起する鐵道會議の如き又は電力調査會の如き或は論者非難の事例とする所かも判らぬ、固より一省に於て主管する事項に付特に調査若は審議の爲に特別會議を設置するがごときに對して

は、吾人も亦論者の説に左袒するのであるが、交通行政が各省に分屬し而かも其の行政の結果が民間事業に至大の關係を有するものゝ如きは、寧ろ一會議に集中して事を確立せしむることが當然であつて屋上屋の類で無いのは明白である、殊に鐵道會議の存在が是認されつゝある現時に於て、

夫れと相對して行政さるべき筈の道路に關する會議を設けないのは、所謂鐵道萬能の舊態を脱しない片手落の施政と言はざるを得ないのである、或は會議設置の爲に國庫負擔の増加を憂ふる者もあろう、固より經費を節約するに反對する者は無い、併しながら其の經費の支出に依つて擧げ得べき國家國民の利益に比較考慮して利あらば支出を吝むべきでない、事の利害を判斷するなく徒に消極主義の看板に拘泥して道路會議を廢止した既往の内閣は、夫れに依つて幾何の經費を節したか吾人の奇怪に感ずる所であつて、此の如きは採らざる所である。



或は今回の産業道路の改良は、道路行政監督の爲に内務大臣が指定して特別監督の下に置く府縣道の改良を助勢するのであつて、こと既に確定した道路を改良するだけに止まるが故に、今更道路會議を設置して之に審議調査せしむるの必要が無いと言ふ反對論もあろう、併しながら吾人が

道路會議の設置を提唱する所以は、産業道路策が按出せられた爲に其の審議を目的とする會議を設けよと言ふのではない、道路政策決定の爲に從來より其の設置を必要とし世上要求された會議を此機に於て設置せよと言ふのである、

蓋し前内閣時代に於ては年額三百五十萬圓の道路改良費すらも輒ともすれば否認せむとする状態に在つたのを、現内閣が吾人年來の主張に聽き、今其の舊弊を打破して道路政策に新考察を加へたからであつて、尙之に一步を進めて會議を設置したならば産業道路策を採つた其の趣旨は一層徹底して各種交通機關の改革を呼び起すであらうと言ふ意に外ならないのである。殊に産業道路計畫のみに就て見るも、全延長六千里の内千五百里を十年間に改良せむとするに在つて、殘餘四千五百里の改良は之を十年後の將來に残されてゐるのである、此の如きは、産業開發上吾人の採らざる所なるを以て、何とか之に對する方策を樹立する必要あるのみならず、本年度豫算に計上されたる二百萬圓の如きを以ては十年間に於ける改良も尙覺束なきの状況に在るの

外、産業道路と相俟つて改良さるべき國道の計畫に至りては前途尙暗澹たるの感がある、加之前に述べた如く各交通機關の統制の急に迫るとき、吾人の主張は蓋し無理ではなからう。

○
明治の初年以來問題であつた我國道路政策も、原内閣の設置した道路會議に依つて審議決定され從來の懸案を一掃した外更に進んで新計畫を樹立決定した、其の決定は假令内閣の交迭あるとも唯だ豫算の變更を見たに過ぎないで根本方針は依然今日まで維持されたのである、之を想ふとき會議の効果と決定の權威を偲ぶのである、路上交通機關たる自動車發達の爲に其の計畫の一部を改訂した現内閣も亦道路會議を再興して、交通の要求否な社會の要求を容るゝの責務があるであらう、吾人は速に此要求を容れて新道路政策を確定せむことを望むのである。